

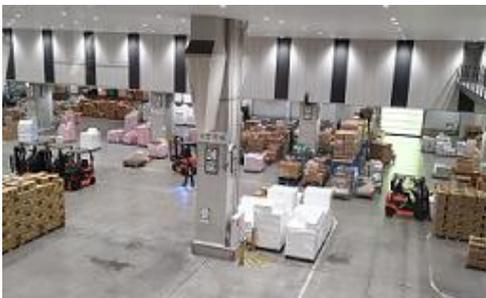
## JA 長生施設野菜部会 青年部が豊洲市場を視察

長生農業事務所改良普及課 令和5年8月29日発

JA 長生施設野菜部会は、「長生（ながいき）トマト」ブランドとして、大玉トマトの周年栽培を行っており、そのほとんどを市場に出荷しています。そこで、青年部8名、JA担当者2名、農業事務所が、市場との情報交換を行うため豊洲市場を視察しました。

当日は、現在使用している規格表や、選別基準について市場関係者とともに確認し、市場評価の向上に向け意見交換を行いました。また、市場関係者の説明を受け、他産地のトマトの品質を確認したほか、「自動立体低温庫」や「フレッシュ・ラボ（調理室）」などの設備も見学しました。参加者からは、「他の生産者とも市場要望を共有し、販売先から選ばれるトマトを生産していきたい」「フレッシュ・ラボを活用して、長生トマトのPR活動を行いたい」との感想がありました。

農業事務所では今後も産地の課題解決を支援し、産地の振興に取り組んでいきます。



入荷スペース



規格を確認する様子